



トビタテ!留学JAPAN 日本代表プログラム 地域人材コース【宮崎県版】
みやざきグローバル人材育成協議会

事業実績報告書

平成28年度～令和2年度



協議会長 ご挨拶

みやぎきグローバル人材育成協議会の会員の皆様におかれましては、日頃より宮崎地域の若者の教育に関して厚いご支援を賜り、深く感謝を申し上げます。

文部科学省が掲げておりました外国人留学生30万人計画は、新型コロナウイルス感染症前の2019年に達成されて、現在は40万人を目標としているところです。また、国内の在住外国人はコロナ以前より増加して既に300万人を超えており、日本社会の国際化は、都市部のみならず地方でも急速に進行しているところです。そうした、これからの国際化社会に向き合って宮崎が益々発展していくためには、海外を知る次世代の若者の育成、成長が急務と言えます。

「みやぎきグローバル人材育成協議会」は、宮崎の若者を国際人材として育成することを目指して、宮崎県内や宮崎県出身の大学生、高校生を対象に海外留学と地域でのインターンシップの実施・支援を行い、産官学の連携により平成28年に組織されました。これまでに、企業22社、宮崎県、高等教育機関5機関のご寄附ならびにご協力のもと、日本学生支援機構の助成を得て活動を行ってきたところです。多くの若い人材に海外留学を周知し、留学機会を提供・支援することができ、地域の人材育成における重要な役割を果たすことができたと思います。その中で、宮崎の若い人材が世界に出ていく、宮崎と世界を繋ぐ、その可能性を示したことが成果と考えます。

日本学生支援機構が当該助成事業制度を令和4年度で終了したことに伴い、本協議会はその活動を終えることとなり、令和5年6月28日の総会をもって協議会は解散となりました。しかしながら、この6年間の活動が宮崎の若者の海外志向や国際化の種火となり、これからの宮崎の国際化が大きく発展することを祈念しております。

この6年間、本協議会を支えていただきました会員の企業、法人、団体、教育機関の関係者各位に、ご協力に心から御礼を申し上げます。

令和5年11月

みやぎきグローバル人材育成協議会長
宮崎大学長 鮫島 浩



事業実績報告書 目次

1. 事業概要

- (1) 官民協働海外留学支援制度～トビタテ!留学JAPAN 日本代表プログラム～
- (2) 地域人材コース
- (3) みやざきグローバル人材育成協議会
- (4) みやざきグローバル人材育成事業
- (5) 育成するグローバル人材への期待

2. 活動実績

- (1) みやざきグローバル人材育成事業の取組み
 - ・ 広報・学生募集活動
 - ・ 選考
 - ・ 派遣留学生壮行会
 - ・ オリエンテーション
 - ・ 事前・事後インターンシップ
 - ・ 海外留学
 - ・ 報告会
- (2) 派遣実績

3. 派遣留学生インタビュー

4. 関連事業

- (1) みやざきグローカフェア
- (2) GLIP
- (3) その他

5. 地域コーディネーター所感

1. 事業概要

(1) 官民協働海外留学支援制度 ～トビタテ!留学JAPAN 日本代表プログラム～

意欲と能力ある全ての日本の大学生や高校生が、海外留学に自ら一步を踏み出す機運を醸成することを目的として、2013年より「官民協働海外留学支援制度トビタテ!留学JAPAN 日本代表プログラム」が開始されました。事業は、文部科学省が所管し、独立行政法人日本学生支援機構(以下、「JASSO」)が運営を担っています。

募集期間2013-2022年度(派遣留学は2014年度から)の9年間では、260の企業や団体、個人から123億円の寄付が集まり、大学生6,082人、高校生3,389人がこの事業で海外留学を果たしています。



参考: <https://tobitate-mext.jasso.go.jp/about/>

(2) 地域人材コース

「官民協働海外留学支援制度 ～トビタテ!留学JAPAN 日本代表プログラム～」では、若者が自分の目指す将来に資する経験を得られるよう、複数のコースがあります。

当初は1.理系・複合・融合系人材コース、2.新興国コース、3.世界トップレベル大学等コース、4.多様性人材コースの4コースがあり、2015年からは5.地域人材コース、6.高校生コースが増え、6コースとなりました。

1~4、5の5コースは、学生らが自らJASSOに申請し、海外留学を行います。したがって、基本的に活動の場は海外となります。一方、「地域人材コース」は、グローバルな視点をもってローカル(地域)の発展に貢献するグローバルリーダー候補を応援する目的で設置されました。そして、実施・運営においては、地域の産官学が連携して「地域協議会」を形成し、プログラムの企画・運営、派遣留学生の募集・選考等を実施する方式となっています。したがって、地域人材コースは特定の地域における留学の促進を支援し、留学をする若者が少ない地方において留学の機運を高めることが期待されたコースと言えます。

● 地域人材コースの4つの特徴

Point 1

留学だけじゃない! 地域の特徴を活かしたプログラム

「海外での実践的な留学」と「国内の地域企業等でのインターンシップ」を組み合わせた、地域人材コース独自のプログラム。



Point 2

「地域」が主体となって運営!

地域(都道府県、政令指定都市または中核市)の産学官が連携し、プログラムの企画・運営、派遣留学生の募集・選考等を実施。



Point 3

地域を知る・学ぶ機会が 盛りだくさん!

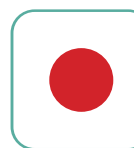
地域企業等でのインターンシップに加え、留学前後に地域独自のオリエンテーションや産学官も出席する報告会も実施。



Point 4

「日本代表プログラム」の 一員として参加!

「日本代表プログラム」のコミュニティ・事前事後研修(関東・関西)などにも参加。



● 地域人材コースの概要

グローバル人材育成コミュニティ

地域協議会

派遣留学生



出典:「官民協働海外留学支援制度トビタテ!留学JAPAN活動報告」 https://www.mext.go.jp/content/20210326-mxt_gakushi02-000013769-03.pdf

参考: <https://tobitate-mext.jasso.go.jp/program/region/>

(3) みやざきグローバル人材育成協議会

宮崎では、県が2015年に「アクションプラン(2015-2018年度)」、「宮崎県まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。これらの施策が推進する地域産業の活性と若者の定着の達成に向けて、次の3つを担う「若手グローバル人材」の育成が必要と考えられました。

- (1) 国内市場だけではなく、成長する海外市場の需要を取り込む地域産業の国際化
- (2) グローバルな視点を持ち、宮崎県の課題解決や活性化に貢献するグローバル人材
- (3) 地域産業の創出と継続的な発展・雇用拡大を担う次世代の若手人材の定着

そこで、地域貢献に強い意欲を持つ学生に、施策で挙げられている成長産業分野を軸とした県内企業等でのインターンシップと海外留学を提供してグローバル人材として育成することを目指して、平成28年度のトビタテ留学JAPAN日本代表プログラム地域人材コースに「みやざきグローバル人材育成事業」が申請、採択されました。そして、平成28年3月29日に宮崎県庁において、文部科学省大臣官房審議官を迎えて、河野俊嗣宮崎県知事、他関係者のご臨席の中、採択状授与式が開催されて、「みやざきグローバル人材育成協議会」が発足しました。



△「トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム ～地域人材コース～」みやざきグローバル人材育成協議会の発足式の様子(2016年3月29日)

(4) みやざきグローバル人材育成事業

みやざきグローバル人材育成事業は、地域の産学官金が協働して、地域貢献に強い意欲を持つ学生に県内企業等でのインターンシップ及び海外留学を提供することでグローバル人材を育成する事業です。

重点分野として、(1)フードビジネス分野、(2)観光分野、(3)IT分野、(4)起業分野の4分野が設定されました。

支援企業でのインターンシップ(事前)



海外留学



支援企業でのインターンシップ(事後)



(5) 育成するグローバル人材への期待

地域の活性化を支えて地域の若者を牽引する次世代の若手人材として、将来の宮崎において次の3点での貢献することを期待して、募集、選抜、支援を行いました。

- (1) 地域国際化促進
グローバル人材として国際的視野で地域の国際性向上と海外発信に寄与し、地域の国際化を促進する。
- (2) 経済・産業発展
観光、フードビジネス、ITを軸に、地域産業を連携させて、今後の地域の経済・産業発展を牽引する。
- (3) 教育・人材育成
地域に定着して若手の中心、次世代人材の具体的な成長目標となり、後継人材の育成に貢献する。

2. 活動実績

(1) みやざきグローバル人材育成協議会の取組み

● 広報・学生募集活動

本事業を支援対象となる高校生・大学生等に対して広く周知していくために、様々な広報活動に取り組みました。

- ・本事業専用のウェブサイトの制作
- ・県内の高校・大学等でのポスター掲示、チラシ配布、立て看板の設置
- ・本協議会加盟大学等での学内説明会の実施
- ・コミュニティビジョンでのPR動画の配信(宮崎大学清武キャンパス、宮崎大学木花キャンパス、宮崎大学まちなかキャンパス、宮崎空港内)
- ・地元新聞への広告掲載
- ・facebook等のSNSを活用した定期的な情報配信



△ 学生募集のチラシ(令和元年度)



△ 事業説明会の様子(KITENビル/宮崎大学 地域デザイン棟)



△ 立て看板と学内ポスター掲示(宮崎大学)



△ 新聞広告

● 選考

一次審査と二次審査により本事業で支援する生徒・学生を選考しました。

一次審査は、事務局主体で書類審査を実施し、申請書類をもとに留学計画の妥当性や人物評価、制度との適合性といった観点から審査を行いました。その後、一次審査を通過した生徒・学生に対して、協議会主体で個人面接とグループディスカッションによる二次審査を実施しました。審査は、民間審査員(支援企業と県)と専門審査員(地域コーディネーター)で構成し、産業界の求める人材としての素養、留学計画の実現可能性といった観点から審査をしました。

● 派遣留学生壮行会

壮行会は、派遣留学生の留学とインターンシップ等の実践活動の成功を祈念して実施する式典です。本協議会の会員および派遣留学生の所属教育機関の関係者にご出席いただき、派遣留学生に対して激励の言葉を送るとともに、各派遣留学生が留学や実践活動に対する抱負を述べました。



△ 第4期生 派遣留学生壮行会の様子(2019年7月6日)

● オリエンテーション

派遣留学生を対象とした事前研修会です。お互いの留学計画や考えを共有しながら信頼関係と協力関係を築いていくとともに、本事業が、地元企業の寄附やインターンシップ受入先の協力があって実現していることを理解し、宮崎県の代表として本プログラムに臨む姿勢を身に付けることを目的として、丸1日かけて実施しました。



△ 第3期生 オリエンテーションの様子(2018年7月8日)

● 事前・事後インターンシップ

事前インターンシップは、選択した分野の産業を把握するとともに、インターンシップ受入れ先での就業体験を通じて経験を積み、より高い当事者意識で問題を捉えて地域課題を明確化することを目的としています。

事後インターンシップは、留学の成果を実践し、留学で獲得した能力等の定着と、成果の選択分野及び地域へのフィードバックを目的としています。

実施期間は、大学生等は事前・事後インターンシップを合わせて20日以上、高校生等は事前・事後インターンシップを合わせて7日以上をそれぞれ目安とします。

● 海外留学

本事業の目的から、留学はリサーチ、海外企業へのインターンシップ等の実践的活動を通じて国際的ビジネス感覚を養うとともに、選択分野の発展・課題解決に向けた経験、知識、思考力を身に付けるために、実践的なインターンシップやフィールドワーク等の活動を重視します。



△ 支援企業でのインターンシップ及び海外留学の様子

● 報告会

全てのプログラムを終えた派遣留学生在が、本協議会員や関係者に向けて、事前・事後インターンシップや海外留学での活動成果や学び・気づき等について報告を行いました。



△ 報告会の様子(第1期生成果報告会:2017年3月24日/第2期生成果報告会:2018年7月7日)

(2) 派遣実績

平成28年度 ～令和2年度 合計28名 (内訳) ・高校生6名 ・高専生1名 ・大学生21名	平成28年度	大学生等7名	宮崎大学3名 宮崎国際大学2名 九州大学1名 名桜大学1名
	平成29年度	大学生等5名	宮崎大学2名 南九州短期大学1名 早稲田大学1名 立命館アジア太平洋大学1名
	平成30年度	大学生等7名 高校生等3名	宮崎大学4名 宮崎公立大学2名 都城工業高等専門学校1名 飯野高等学校1名 妻高等学校1名 宮崎北高等学校1名
	令和元年度	大学生等3名 高校生等3名	宮崎大学1名 北九州市立大学1名 鹿児島大学1名 高千穂高等学校1名 宮崎第一高等学校1名 宮崎工業高等学校1名
	令和2年度	大学生等0名 高校生等0名	コロナ禍により募集中止、派遣実績なし

3. 派遣留学生インタビュー

Q1 なぜ地域人材コースにエントリーしようと思ったの？

大学入学以来、留学への憧れがありました。ある時、宮崎で活躍されている社長から「宮崎で生きるからこそ、世界を見る必要がある」とアドバイスを受け、それが留学への決意につながりました。この言葉が、私の視野を広げる一歩となりました。



北原 春華さん

参加当時：宮崎大学 教育文化学部4年

第1期生(2016年度参加) 大学生等枠・観光分野
留学先：台湾

インターンシップ先：高千穂町

宮崎県川南町出身。現在は、宮崎大学の学び・学生支援機構
地域人材部門で事務職員として勤務。

Q2 海外留学では、どんな活動をしたの？

台湾の東呉大学で「宮崎・高千穂紹介展」を開催し、82名にご来場頂きました。イベントでは、現地ラジオ局や日本の新聞社から取材を受け、多くの人に宮崎・高千穂の魅力を伝えることができました。また、イベントに協力してくれた台湾人学生と一緒に高千穂を観光し、高千穂ファンを増やすこともできました。これらの経験は、私の視野を広げ、異文化理解を深める貴重なものでした。



Q3 海外留学の経験は、今にどう活かしている？

大学生の皆さんとコミュニケーションを取るときに、あなたたちは可能性がいっぱいあって、何でもできるし、大学という場所を活用して様々な経験ができて、卒業後もさらに素敵な世界が待っているんだよということを伝えることができるのは、このプログラムで様々な経験をさせていただいたからだなと思っています。

Q4 最後にメッセージをお願いします。

トビタテ留学!JAPAN地域人材コースでの経験は、私の人生のターニングポイントでした。この経験を通じて得たものは計り知れず、今後もこれを活かして地域に貢献していきたいと思っています。このプログラムに関わってくださった全ての方々に心から感謝しております。ありがとうございました。



Q1 なぜ地域人材コースにエントリーしようと思ったの？

エントリーのきっかけは、地元のえびの市にある温泉を使って地域の観光を再興させたいという思いからでした。飯野高校にて地域探究活動に取り組み、地域の課題解決方法を模索している中で、海外での学びが必要だと感じ、このプログラムにエントリーしました。

Q2 海外留学では、どんな活動をしたの？

台湾の静宜大学で約1か月間留学し、温泉観光に関する学びを深めました。台湾の歴史や文化、温泉経営者へのインタビューや観光客との交流、温泉関連の総会参加など、幅広いフィールドワークを経験しました。また、静宜大学内での日本文化体験イベントにゲストとして参加させていただくなど、多様な体験をさせていただきました。



川野 七海さん

参加当時：宮崎県立飯野高等学校3年

第3期生(2018年度参加) 高校生等枠・観光分野
留学先：台湾

インターンシップ先：京町観光ホテル

九州大学共創学部に進学。大学卒業後は、株式会社エムティーアイで、母子手帳アプリ「母子モ」の営業担当として勤務。

Q3 海外留学の経験は、今にどう活かしている？

この経験は、地域活性化や女性の社会的課題に取り組む意欲を高めました。中学生の頃から感じていた子育てや女性の生きづらさという課題に対し、留学を通じて得た知識や経験を活かしています。現在の職場で母子手帳アプリの営業として働くことで、女性のサポートに貢献しています。

Q4 最後にメッセージをお願いします。

トビタテ留学!JAPAN地域人材コースを通じて、興味ある分野に対して積極的にアクションを起こす力を身につけました。留学経験は、一人で海外に行くという挑戦を通じて自信を深め、今のキャリア形成に大きく影響しています。この貴重な経験に感謝しており、今後も社会に貢献しながら成長していきたいと思っています。支援していただいた皆様、ありがとうございました。

Q1 なぜ地域人材コースにエントリーしようと思ったの？

エントリーの動機は、自分の成長と地域への思いを深めたいという願いからでした。綾町で育ち、地域の温かさや課題を実感してきた中で、地域に貢献する方法を考える中でトビタテ!留学JAPANのプログラムを知りました。特に地域での学びと海外留学の経験を組み合わせ、地域活性化に貢献することに共感し、エントリーを決意しました。



山田 誠士 さん

参加当時:宮崎大学 地域資源創成学部 3年

Q2 海外留学では、どんな活動をしたの？

食と農をテーマにイタリアへ3ヶ月間留学しました。日本とイタリアの農業の取り組みを調査し、直接的な取引システムや農家さんの取り組みを学ぶために現地調査を行いました。また、地域での課題解決に取り組む人々との対話を通じて学び、国内外での情報収集の重要性を痛感しました。



第3期生(2018年度参加) 大学生等枠・フードビジネス分野
留学先:イタリア

インターンシップ先:一般財団法人こゆ地域づくり推進機構
宮崎県綾町出身。大学院卒業後は宮崎県庁へ入庁。現在は、環境森林部環境森林課に所属。

Q3 海外留学の経験は、今にどう活かしている？

このプログラムを通じて、地域課題への理解が深まりました。継続的な取り組みの大切さや、地域の価値を活かす方法について学びました。国内外での学びや経験を通じて、地域に関わりながら宮崎の未来に貢献する意欲が強くなりました。

Q4 最後にメッセージをお願いします。

このプログラムを通じて、地域活性化への取り組みや課題解決に向けた意欲が高まりました。トビタテ!留学JAPAN地域人材コースのプログラムに関わった方々に深い感謝の意を表し、これからも地域に貢献しながら成長していきたいと思っています。ありがとうございました。



みやざきグローバル人材育成事業に参加したからこそ身についた力!

突き進む力

留学をすることで、「タフさ」が身についたと感じている。ただ我武者羅に進む力ではなく、自分の成すべきことを成し達成するために、計画を立て努力すること、めげそうな時に負けないことなどである。また、留学はもちろん国内インターンシップ期間中も含め、多くの海外の方と関わったことで、物怖じすることが無くなった。これは、社会に出て働く時にも役立つと確信している。

本音で語る力

日本の学生とだけではなく、国を越えて海外の学生との討論を通して本音で語ることに抵抗がなくなった。また、インターンシップを通して視野が広くなり、周りを見ながら活動できるようになった。

巻き込む力

留学前までは周りの人に迷惑をかけてはいけないと思い、自分1人で進めることが多かった。しかし1人でやっていると出来ないことも多くあり、最終的にはそれが原因で企画が進まず周りに迷惑をかけてしまうことがあった。そこで周りの人に自分から積極的に相談したり協力を仰いだりしながら物事を進めていけばプラスの成果につながることを実感した。この力は今後必要な力になってくるだろうと思う。

挑戦する力

今回の経験を経てさまざまな出来事が自分を鍛えてくれたが、その中でも一番ついた力は挑戦する力だと思う。今までの自分は“自分には出来ないからいいや”など逃げ腰な面があったがこの留学を通して、できなくとも挑戦する度胸がついた。この挑戦する力はこれからも生きてくるし大事にしていきたい。

4. 関連事業

(1) ミヤザキグローバルフェア

本事業の認知度向上、及び県内の高校生・大学生等に事業価値を発信していくことを目的として、平成30年度より「ミヤザキグローバルフェア」を実施してきました。本イベントは、派遣留学生のOB・OGが中心となり企画・運営しているもので、過去5回実施で参加者数は421名にのぼります。

過去実施したイベントでは、河野俊嗣宮崎県知事や文部科学省のトビタテ!留学JAPANのご担当者に来て頂いての基調講演や派遣留学生OB・OGによるパネルディスカッション、参加者同士で意見を交わすクロストークなどを行いました。参加生徒・学生からは「海外留学がより身近なものになった」「いろんな世界に出ていって、自分の中の世界観を広げていきたい」といった感想のほか定期開催を希望する声も頂きました。

● 開催実績

vol.1	2019年 3月 9日開催	148名(うち大学生43名、高校生46名)
vol.2	2019年 7月 6日開催	69名(うち大学生45名、高校生 8名)
vol.3	2020年12月 1日開催	83名(うち大学生39名、高校生18名)
vol.4	2021年12月 3日開催	79名(うち大学生24名、高校生55名)
vol.5	2022年 2月19日開催	59名(うち大学生17名、高校生42名)



△ ミヤザキグローバルフェアvol.1の様子(2019年3月9日)



△ コロナ禍は、オンラインで開催。ミヤザキグローバルフェアvol.4の様子(2021年12月3日)



△ イベント案内チラシ

(2) GLIP ~Global × Local Inquiry learning Program~

新型コロナウイルス拡大の影響を受けて海外派遣が困難な状況が続く中で実施したのが、オンラインを活用した海外留学支援プログラム「GLIP(グリップ)」です。本事業は、宮崎県オリジナルの留学支援として、3日間のオンライン留学に加えてローカル(宮崎)の地域資源や地域課題について考える1日間のプログラムを組み合わせ実施しました。限られた募集期間だったにも関わらず定員20名に対して47名の高校生・大学生からエントリーがあり大盛況のうちに終了しました。



△ GLIPの様子(2022年3月28日～3月31日の4日間で実施)



△ イベント案内チラシ

(3) その他

本事業の周知及び県内の高校生・大学生の海外留学や地域での実践活動への挑戦を後押しすることを目的として、積極的にイベントに取り組んできました。

● 公務員志望だからこそ留学！

海外留学が視野にない高校生・大学生にこそ海外留学に目を向けてもらいたいという想いで企画したイベントです。河野俊嗣宮崎県知事のほか、海外留学経験のある高校教員や海外と連携しての事業に取り組んでいる役場職員など5名の公務員をゲストに招いて、パネルディスカッション形式で経験談をお話いただきました。イベントには、高校生・大学生だけでなく保護者の方も参加もあり多くの方に海外留学について考えて頂く機会となりました。



△ イベントの様子(2018年3月18日)



△ イベント案内チラシ

5. 地域コーディネーター所感

本協議会の会員の皆様におかれましては、6年間にわたり多大なるご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

協議会立上げ時より地域コーディネーターとして参画し、派遣留学生たちの海外留学、そしてインターンシップの活動を間近で支えてきました。グローバル(海外留学)とローカル(地域活動)という一見すると相反するようなコンテンツが同居するプログラムのため、高校生・大学生や関係者に事業価値をどのように伝え、理解してもらうか苦慮いたしました。しかしながら、派遣留学生たちが壁にぶつかりながらも活動に邁進する姿や事業終了後もOB・OGとして私たちの活動を一緒に盛り上げてくれるなかで、本事業が生み出す価値・影響の大きさを実感する日々でした。残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響により、事業中断を余儀なくされましたが、この6年間の取組みは、本県の留学機運の醸成に貢献したものと感じています。

改めて本事業を支えてくださった協議会員そして関係者各位に御礼を申し上げます。



地域コーディネーター
兼 事務局長
桑畑 夏生

本協議会を支えていただきました企業、団体、教育機関の皆さまに、心から感謝申し上げます。この6年間、皆さまのご協力により、本プログラムは大きく前進しました。

私は本プログラムに途中から参加させていただきましたが、留学や宮崎県内をフィールドとしたインターンシップを通じて、学生・生徒の皆さんが成長していく姿を目の当たりにし、私自身大きな刺激を受けました。

本プログラムの参加者の特徴は、「後輩たちのために協力を惜しまない」ことです。プログラムに参加して終わりではなく、プログラム終了後も「ミヤザキ・グローバルフェア」や「公務員だからこそ留学」、その他宮崎県内や県外で行う本プログラムの説明会など、OB・OGの皆さんが自主的に企画・運営・参加いただいたことで、宮崎の高校生・大学生が留学を志し、実現に繋げていく、とても良い循環を作ってくれたと感じています。改めて本プログラム関係者の皆さまに、深い感謝の意を表します。本当に有難うございました。



地域コーディネーター
新村 拓也

みやざきグローバル人材育成協議会（事務局）

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地

国立大学法人宮崎大学

国際連携機構 国際連携センター内

TEL:0985-58-7104 FAX:0985-58-7782